

実質化された人・農地プラン

〔注：本様式は参考ですので、地域の話合いの結果に応じて、積極的に記載する項目を追加してください。〕

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
錦江町	大原	令和5年1月11日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	89ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	46ha
③地区内における65才以上の農業者の耕作面積の合計	62ha
i うち後継者がいる農業者の耕作面積の合計	48ha
ii うち後継者がいない農業者の耕作面積の合計	14a
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	20ha
(備考)	

- 注1：③の「〇才以上」には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。
 注2：④の面積は、下記の「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。
 注3：アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。
 注4：プランには、話合いに活用した地図を添付してください。

2 対象地区の課題

町東部の山麓に位置し、開墾された農地がほとんどである。水田については、基盤整備が実施されている地区でも傾斜地にある水田が多く、未整備の水田は、山間迫田がほとんどで、集団的な基盤整備等は実施困難となっている。契約出荷米の生産、水稲後作でも葉ねぎ、かぼちゃ、キャベツ等で活用が図られている。畑地については、一部を除いて基盤整備は実施されていない。畑地のほとんどは樹園地(茶)として利用されているが、大部分は傾斜地にあり、乗用型茶園管理機械利用による作業の安全面を考慮した条件整備を進めながら、作業の効率化による規模拡大を推進する。樹園地以外でも葉ねぎ、かぼちゃ、キャベツ等が栽培されるようになり、農地の利用拡大が図られつつある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地域農業の継続を図るため、新規就農者の確保・育成や中心経営体の経営力向上を目指す。

- 注1：中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。
 注2：「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の耕作状態や耕作者の余力などを把握できるよう、地域や耕作者による話し合いを進め、大規模農家や余力のある耕作者へ集積できるようにする。
 ・農地中間管理機構の活用方法
 経営農地の集約化を進めるため、農地中間管理機構等を活用し中心経営体への賃借を進める。

(参考) 中心経営体 (別紙のとおり)

	農業者 (氏名・名称)	貸付け等の区分(m ²)		
		貸付け	作業委託	売渡
1				
2				
3				
4				
5				
6				
	計	○○○○	○○○○	○○○○

注: 農業委員・農地利用最適化推進委員が農地の貸付け等の意向を確認した面積を農地利用最適化交付金の成果実績払いの対象とする場合には、人・農地プランにおいて地番、面積を記載することが必要です。

(留意事項)

本様式をそのまま公表様式として活用する場合には、中心経営体の氏名等特定の個人が識別される情報が含まれることから、本人の同意を得る等個人情報保護条例等に抵触しないよう留意してください。

なお、本人の同意が得られない場合には、その方の氏名を伏せるなど、個人が識別されないよう留意してください。

中心経営体

属性	経営体 (氏名)	現状		今後の農地の引受けの意向			
		経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)		
認農法		生産牛	64	頭	生産牛	70	頭
		育成牛	43	頭	育成牛	47	頭
認就		施設野菜	0.40	ha	施設野菜	0.40	ha
認農		茶	10.83	ha	茶	10.83	ha
認農		茶	16.40	ha	茶	16.40	ha
認農		茶	11.10	ha	茶	11.10	ha
認農		茶	13.05	ha	茶	13.05	ha
認農		茶	8.74	ha	茶	8.74	ha
認農		茶	8.52	ha	茶	8.52	ha
認農		茶	20.41	ha	茶	20.41	ha
認農法		茶	26.10	ha	茶	25.00	ha

認農法		肉用牛	360	頭	肉用牛	390	頭
		養豚	70	頭	養豚	90	頭
認農法		養豚	56,100	頭	養豚	58,000	頭
認農		生産牛	10	頭	生産牛	10	頭
		育成牛	7	頭	育成牛	7	頭
		生産牛	6	頭	生産牛	6	頭
		育成牛	4	頭	育成牛	4	頭
		生産牛	9	頭	生産牛	9	頭
		育成牛	7	頭	育成牛	7	頭
		茶	7.73	ha	茶	7.73	ha
		水稻	0.50	ha	水稻	0.50	ha
		露地野菜	0.50	ha	露地野菜	0.50	ha
		茶	18.86	ha	茶	18.86	ha
		養鶏	575,000	羽	養鶏	575,000	羽
		養鶏	380,000	羽	養鶏	380,000	羽
		茶	2.00	ha	茶	2.00	ha
		露地野菜	0.10	ha	露地野菜	0.30	ha
認農法		水稻	3.00	ha	水稻	3.00	ha
		露地野菜	33.00	ha	露地野菜	38.00	ha
		露地野菜		ha	露地野菜		ha

認農 法		—	—	ha	その他作物	0.50	ha